

平成 30 年 8 月 北秋田市長記者会見

平成 30 年 8 月 6 日（月）午後 1 時 30 分
市役所本庁舎 大会議室

1. 台湾トップセールスについて

2. 北秋田市縄文子どもシンポジウムの開催について・・・資料 1

3. 8月の主なイベント案内について

その他

・ 8月の行事予定

1. 台湾トップセールスについて

8月20日から23日にかけて、秋田県知事及び県内各自治体の首長とともに、台湾トップセールスを実施してまいります。

今回の訪問では、インバウンドのメインターゲットである台湾からのさらなる誘客を促進するため、一昨年、秋田県と「国際交流協力覚書」を締結した高雄市政府機関や台湾の主要な航空会社などを訪問してまいります。

「内陸線阿仁合駅舎のリニューアル」や世界文化遺産推薦候補に選定された「伊勢堂岱遺跡」などの新たな魅力のPRを行いたいと考えております。

市単独では、秋田県スキー連盟と友好協定を結んでおります台湾スキー協会への訪問を予定しております。

なお、同協会には平成27年度、29年度に続き今回で3回目の訪問になりますが、秋田県及び当市の合宿などに関する助成制度をPRして、台湾の学生等によるスキー合宿などの誘致に繋げてまいりたいと考えております。

2. 北秋田市縄文子どもシンポジウムの開催について

8月26日日曜日午前10時から市民ふれあいプラザコムコムにおいて、「北秋田市縄文子どもシンポジウム」を開催いたしますのでお知らせいたします。

子どもたちと専門職員がそれぞれの視点から発表を行い、縄文遺跡の保護や活用について考える場として、今回が初開催となります。

シンポジウムには、伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアをはじめ、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を形成する遺跡所在地のうち、北海道函館市、青森県八戸市、岩手県一戸町（いちのへまち）の子どもたちを当市にお招きして、自分たちの遺跡について発表していただくこととしておりますので、多くの市民の方々のご来場をお待ちしております。

また、皆様もご案内のとおり、7月19日に国の文化審議会が「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を世界文化遺産候補として推薦することに決定しました。

ユネスコへの推薦は、来年2月頃の国の決定を待つこととなりますが、今後も関係自治体との連携を深め、世界文化遺産への登録に向けて、全力で取り組んでまいります。

3. 8月の主なイベント案内について

今月は、明日7日の「第32回森吉山麓たなばた火まつり」を皮切りに、14日の「第38回合川ふるさと祭り・第47回合川まと火」、同日の「根子番楽定期公演」、15日の「第62回北秋田市民盆踊り大会」、16日の「阿仁の花火と灯籠流し」、そして、26日には第10回の節目を迎えます「ノスタルジックカーフェスタ2018 in 北歐の杜」と、伝統行事や夏ならではのイベントが市内各地域において目白押しとなっております。

夏の夜空を彩る大音響のスターマイン、川面を流れる幻想的な灯籠、その他にも沢山の見所がございます。

ぜひ、お出かけの計画に組み込んでいただいて、北秋田市の”夏”を存分にお楽しみください。

皆様のお越しをこころよりお待ちしております。